

# 飛翔OB会

同窓会  
報

平成29年3月2日  
第24号

## 第37回青森県高校総合文化祭

### 美術工芸部門「最優秀賞」受賞

作品名 「真面目」 油彩/F50



平成28年10月21日金曜日、弘前市文化センターで開催された「第37回青森県高校総合文化祭美術工芸部門」において、美術コース二年の野口麟さんが最優秀賞を受賞しました。さらに、来年度の全国大会への出品作品に選ばれました。その他、同コース二年の荒川涼さんが優秀賞、同コース二年の中山友理さんが優良賞を受賞し、出品者全員が入賞しました。

#### 〔野口麟さんの感想〕

私は高絵文の制作に、自分から積極的に申し出ました。何故かというところ、これまで先輩の描いてきた作品を見て、強い憧れを抱いていたからです。どこまでできるかやってみようという挑戦でした。制作が始まってからは自分との戦いでした。くじけそうになったこともありましたが、描けば描くほど、表現することの本当の楽しさに気づきました。制作を通して、自分を支えてくれる人たちの大切さも知り、貴重な体験になったと思います。最後まで悩み、描き続けた結果、最優秀賞をいただくことができ、自信につながりました。今後も、この経験を活かし積極的に制作に取り組みたいと考えています。



## 『一日一日を大切に』

同窓会会長 熊谷 雄一

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。同窓会を代表して、心からお祝い申し上げます。勉強のみならず、部活動や生徒会活動、ボランティア活動などにより三年間培った力は、必ず未来の自信につながります。思い描いた夢のスタートラインに立った皆さんは、これから目標に向かって一歩近づいた喜びを感じてほしい。その瞬間は、一日一日を大切に精進し、人生を歩み続けるための心のより所となるに違いありません。育んだ友情や師弟の絆を大切に、どうぞ励まされてください。

活躍しております。一昨年の40周年記念事業において、卒業生によるトークショーを開催しました。が、昨今各界、各分野での活躍はめざましいものがあり、大変心強く、私たちに希望を与えてくれます。今後ともお互いに切磋琢磨しながら、同窓生のネットワークをさらに広げ、進化させていきたいと思っております。

現代社会の要請に依ってける学校として、母校のさらなる進化が期待されます。「生徒一人ひとりに光を当て、可能性を伸ばす」という本校の歩みを止めることなく、これからも特色ある良質な教育活動を後押しし、母校が発展し続けることを願っております。

同窓会は、会員相互の親睦を図り、母校の発展に寄与することを目的に組織され、様々な活動を行っております。現在一万人を超える会員は、地元はもとより全国各地で

「県内随一の私学進学校」を目指して大開創された母校は、幾多の困難を乗り越え、40年以上にわたり教育活動を続けております。その成果が立派に結実していることに、同窓生として大きな喜びと誇りを感じます。

そのために、本会を飛躍させ、会員相互の強い絆で母校を支援できればと考えております。同窓会の活動に対して、さらなるご理解とご協力をお願い申し上げます。

グローバル化・情報化・多様化が進む中、主体的に社会と関わり、積極的に自己を開拓し、生き抜く力が求められています。学習指導要領改訂を見据えて、学びの質向

上のため、課題解決型の授業、いわゆる主体的、協働的に学ぶアクティブラーニングの手法を取り入れた授業が推進されるようです。教育界に関心が一層注がれる一方、私立学校に目を向けると、その環境は、年々厳しさを増しております。

そのために、本会を飛躍させ、会員相互の強い絆で母校を支援できればと考えております。同窓会の活動に対して、さらなるご理解とご協力をお願い申し上げます。

二高教員にインタビュー〜清水先生・藤澤先生〜



◎まず、今年度三月で定年退職なさる清水伸夫先生にお話を伺いました。

（今年度三月で定年退職を迎えられますが、これまでの教員生活を振り返ってどんな思い出がありますか？）

二高に赴任してすぐ3年生の副担任になりました。渡部高明先生が担任をした進学コースのクラスです。東京での会社勤めを挟んで、二度の大学生活を経ての28歳の新米教師で、青臭い言行が嫌われました。別に気取っていただけではありませんが、「気取るな」と言われたこともあり。特に女子に嫌われ、黒板に向かつて板書していると背後で「嫌いだ」という声が聞こえてきます。それでも、卒業式の日、教室で渡部先生が卒業証書を手渡すのを見守っていたら、リーダー格の女子生徒に「先生、握手して下さい」と言われ、その後握手を求められたように、隠れファンが存在すると同僚の先生から教えられたこともあり。今では信じられない

ことです。（今後はどのような時間をお過ごしになりたいと考えていますか？）

数年前、親戚の葬儀の際に実に痛快で驚嘆すべき人物に出会いました。競走馬を専門に診る獣医で、長針という道具を扱うのだそうです。馬にも針治療があるんですね。八戸のタイハイ牧場にも来たことがあるそうです。それで、その人の発した一言に目からうろこが落ちる思いがしました。とにかく「今がいちばん面白い」のだそうです。世の為、人の為どころか、馬まで気持ちよくする、何と当時82歳の！の現役獣医師の発した言葉です。大型馬であれば体重500キロの巨体を操る80代は若者以上に精神に見えました。それ以来、退職後の時間は「今がいちばん面白い」といえる過ごし方をめざしたいと考えています。（最後に、OB・OGに向けてのメッセージをお願いします。）



城正一郎先生との面接のために初めて八戸駅に降り立ち、バスで中心街へ行き、さらにタクシーで二高へ向かった時のことは今でも覚えています。あれから32年、いろいろなことがありました。決して順風満帆だったとはいえませんが、私生活ではありえないと思っていた家族にも恵まれ、その家族を路頭に迷わすことなく定年を迎えられるのは、ひとえに卒業生のみなさまの存在、二高の存在があればこそと、感謝に堪えません。これまで本当にありがとうございました。

（最後に、OB・OGに向けてのメッセージをお願いします。）  
かつて、いったんは民間企業に就職したものの、教職への希望を叶えるため、大学に戻って教員免許を取得しました。就職活動はじっくり準備をしようと思っていた矢先に大学から連絡がありました。二高への就職が決まりました。初代校長の根

すために今年度より設立されました。スーパーカレッジクラス（SC）やアクティブカレッジクラス（AC）のように入学時からあるクラスではなく、2学年に進級する際に選択するクラスです。第一期生となる43回生は、現在13名のMC生が在籍しています。MCでは、学校で毎週行われる学習会で医療に関する知識や倫理観を深めるほかにも、介護施設での実習や病院でのインターンシップを通して現場でしか得られない経験を積むなど、高校の普通科ではなかなかできないような体験をすることができま。また、学校で講演会を行う際にはOB・OGの方々にも講師として講演していただいています。地域をはじめ、先輩方など多くの皆様に支えていただき、非常にありがたく感じています。（藤澤先生は二高のOBでいらっしゃいますか、現在の二高はどのような雰囲気でしょうか？）

私が二高を卒業してから10年も経過してしまいましたが、学校の様子は大きく変わったように思いますが、まずは制服ですが、今年度からデザインが一新され男女ともに黒のブレザー、男子はグレーのストラップス、女子は青いチェック柄のスカートになりました。ジャージも3年ほど前にデザインが変わり、あの水色の

ジャージを校内で見かけることはなくなりました。また、カレッジコースが大きく改革されました。SCは部活動には所属せず放課後は講習や自習の時間とし、より勉強に特化した姿になりました。他にもACやMCの誕生により、大学進学へ向けた取り組みが以前よりも多様化しています。この改革が41回生の国公立大学50名合格を達成という結果に結びついていると思います。この他にも、中庭から噴水がなくなり、代わりにウツドデッキが設置されました。生徒玄関前のヒマラヤスギがなくなり、代わりに別の木が植えられたり、トイレが改修されたりと学校の雰囲気はここ数年で以前よりも明るくなったように感じます。（OB・OGの皆さんへメッセージをお願いします。）

Table with 4 columns: Group (e.g., 一組, 二組), Name (e.g., 関智啓, 川進太郎), and another Name (e.g., 下智啓, 川進太郎). Includes a section for '結婚しました' (We got married) with names like 政拓さん and 満幸さん.

来年の新幹事が決定するまでの1年間、宜しくお願いします。

# 第6回生同期会

幹事代表 奥山 聡

昨年の8月15日に昭和56年度卒業第6回生の同期会を行いました。大島光子先生、志村功祐先生、高坂俊一先生、斎藤育夫先生の4名をお招きし、同級生32名の参加でした。

第6回生は、クラス会が行われていたようすが、A組からD組まで全クラスでの同期会は卒業後今回が初めての実施でした。卒業から36年、先生方は変わらずお元気でした。我々卒業生はというと：当時のあの初々しかった女性陣は皆さん魅力的な大人の女性？となっており、リーゼント頭で突っ張っていた男性陣は見るも無残な？おじさんへと変貌しておりまして、風貌は変われど皆さん元気で、36年という時の流れを感じることもなく当時の学校生活のようには楽しい時間を過ごしました。第6回



生は、現在54歳。様々な仕事で活躍しており、当時の思い出はもろろんですが、卒業後の人生の話、仕事の話、子供の話、孫の話、そして：もう少しで還暦の話と盛り上がりです。今回は急な同期会の案内でしたので先生方含め36名ではありましたが、今回を機会に3年に一度の同期会を行い、還暦を迎える6年後にはもっとたくさんさんの参加で「還暦同期会」を祝いたいと思っております。

## ☆☆会員からのメール☆☆

◎馬渡 隆行 (2回生)

昨年度 三年生を学舎から卒業させ、東大合格者数が埼玉県トップ、早稲田大、他の国立大・私大でも輝かしい結果を残してくれました。 栄東高等学校

◎服部 (佐々木) 知佐 (6回生)

近畿地方に住み始めてはや30年！文化、言葉などの違いにも慣れ、関西の生活を満喫しています。

◎漆戸 一博 (8回生)

友人と会社を設立し、今年で3年目になりました。 ハートハウジング㈱

◎山口 嘉久 (12回生)

嫁、息子、犬を養うため、昼夜頑張って仕事をすする日々です。たまにライブや野球観戦に行きます。

◎田高 寛直 (17回生)

忙しい日々を送っていますが、休みの日は、日本大学法学部図書館で本を読むなどして過ごしています。

◎深畑 忍 (19回生)

40代になり、高校時代の若さを懐かしむ日々です。

介護老人保健施設

リハビリパーク

◎榎山 正樹 (23回生)

仙台に単身赴任しています。月に一度帰り、我が子の成長を見守っています。 陸上自衛隊

◎田嶋 (酒井) 真由美 (24回生)

3人目を出産し、子供たちとゆったり過ごしています。

◎笹本 博之 (24回生)

後輩も増え、日々奮闘中です。 日本原燃分析㈱

◎小比類巻雅哉 (28回生)

昨年の4月から、六戸町役場で働いています。心機一転、公務員として頑張っております。

◎中川 一哉 (32回生)

現在社会人6年目です。企画部門で安全衛生を担当しております。毎日の安全な業務運行のため、現場のバックアップに努めています。 日本郵便㈱信越支社

◎古館 梓弓 (36回生)

小学校で加置担当の教

員をしながら、大学院で研究したり、論文を作る助手をしています。2年で卒業できるように頑張っています。

◎菅原あゆ美 (39回生)

看護師試験を無事合格し、4月から動物病院で看護師として働いています。命と関わる仕事なので、毎日が抜けません。日々頑張っています。

◎副島 彩乃 (39回生)

8月後半から臨床実習が始まります。1年という長い期間ですが、気持ちを込めてケアができるように、看護の勉強を頑張ります。

◎宮川 瑞季 (39回生)

3年生になって、臨地実習が始まります。実習に向けて頑張っているところです。

◎山下 大輔 (41回生)

大学生活にも慣れ、充実した毎日を過ごしています。

◎北野澤祥佳 (41回生)

専門学生として、資格取得のための勉強に日々励んでおります。

◎齊藤 花梨 (41回生)

友達もたくさんでき、看護学生として、毎日忙しく過ごして頑張っています。

「三年間の努力の日々」 川向 夏生

私が過ごした二高での三年間は、辛い日々、楽しい日々が入り交じる密度の濃い時間でした。一番辛かったことは、毎日の勉強と部活動です。勉強では、頑張っても成績が伸びず、悩み、不安に駆られることが多くありました。部活動では、テニス部長として部員をまとめなければならず、様々な重圧と戦う日々でした。一番楽しかったことは、学校行事でした。すべての行事において、準備や片付けなど大変なこともありましたが、クラスの皆で一緒に楽しく活動したことは、大切な思い出です。辛い日々、そして楽しい日々にもいつも努力という言葉があっただけです。私は、これからは努力を忘れず、自分に厳しく生きていこうと思います。 最後に、私が過ごしてきた高校三年間では、多くの人に支えられてこそ、さまざまな経験ができたと考えています。いつも仲良くしてくれた友人、時に厳しくも優しく接してくれた先生方、両親、そして、二高に一番ありがとう。

## 卒業生からの声

「三年間、ありがとう」 庄司 瑛一

三年前、私が考えていた未来予想図は、今とは大きく異なっていた。当初は、「絶対に絵描きになってやる」と思って、美術コースに入ったものの、美術部に入部せず、いつの間にかラグビー部に所属していた。文化祭ではプロレスをしたり、八甲田キャンプに参加したり・・・、そして今は、教師を目指す自分がある。この三年間は、とても魅力ある楽しい時間だった。自分の好きな美術に部活動、そして勉強ができる十分な環境があった。このような豊かな経験ができたのも、多くの支えがあったからである。その支えに感謝し、経験を活かして、次の夢へと進んでいきたい。三年間、ありがとうございました。

「三年間、ありがとう」といった些細な興味が、魅力へと変わっていった。今後の目標は、次の世代に魅力を与えることができるような教師になること、つまり、魅力ある先生になることだ。 この三年間は、とても魅力ある楽しい時間だった。自分の好きな美術に部活動、そして勉強ができる十分な環境があった。このような豊かな経験ができたのも、多くの支えがあったからである。その支えに感謝し、経験を活かして、次の夢へと進んでいきたい。三年間、ありがとうございました。

特集

# 活躍する先輩たち



## 「アーティスト」大庭れいじさん(7回生)

聞き手一同窓会事務局



1. 八戸市在住のアーティストとして活躍中の大庭さんですが、これまでの活動について教えてください。

東日本大震災以前は、寺子屋式の学習塾を経営したりネットで雑貨や玩具の輸入販売をする仕事をしながらも、家に引きこもって、ひたすら短歌や小説を書いたり、絵を描いたりして夢を追いながら試行錯誤の日々を送っていました。震災以後は人生に対する姿勢がすっかり変わりました。家や家族や故郷や命までも流されてしまったおびたしい数の人たちのことを思って私の胸は張り裂け、私自身も一度死んでしまった感覚を抱いたのです。

私は、幼児期に病気で聴覚を7割ほど失い、9年前に難病・潰瘍性大腸炎になり、ずっと苦悩しながら生きてきました。が、耳や大腸を流されても命はまだまだ流されていないことに感謝し、命ある限り震災で命を流さ



れてしまった人たちの分も前向きに生きようと決心しました。

そこでまず、東北・八戸復興支援活動に目覚め、2011年5月に初めてのアート展をギャラリーミモザで開催。今までに描いた絵を200枚ほど展示し、会場に常駐し108人のチャリティー似顔絵を描いて復興支援金73188円を集め八戸市に寄付しました。それをきっかけに人前になるようになり、その後も、はっちやピアドゥでも定期的にアート展を開催し、会場でチャリティー似顔絵を描いて復興支援金を集めるようになりました。

2013年9月には車でアメリカ横断をして、各地で出会った人たちの似顔絵を描くこともしました。さらに2012年1月に「東北・八戸復興支援チャリティー朗読ライブ」愛と平和の言葉LIVE!!」をはっちで初めて開催しました。どんな人でも自作の詩や短歌

や郷土の詩人歌人作家の作品を朗読表現できるという内容のイベントです。おかげさまで回を重ねてきて、今年の3月25日に第14回を迎えることになっています。そのライブで私は自作の短歌を読むという朗読パフォーマンスをするようになり、おかげで「詩のボクシング」青森大会で2年連続準チャンピオンになったり、「寺山修司演劇祭」に出演したり、松島や福島や遠野やニューヨーク他でも朗読パフォーマンスを披露しました。

短歌に関しては、2011年10月に第一歌集『ノホエア・マン』、2015年5月に第二歌集『摩天楼の森』を出版しました。このように文学やアートの創作活動を展開しながらも、私は、聴覚障害者や難病患者、震災で傷ついた人々たちを癒やして少しでも支えたいと思うような生き方をしたいと思って、今も精一杯がんばっております。

2. 本を出版したり、イラストレーターや歌人として活躍したりと様々な活躍をいらっしやいます。このような活動(仕事)をしようと思っ

たきっかけは何ですか？  
私が生まれる前から私の母方の祖母は八戸市の三日町で伊吉書院という本屋をやっていて、母も

そこで働いていたので、物心のついた頃から本のある世界に生き、たくさんのマンガや小説、画集に馴染んできたおかげで、耳から言葉を覚えられない聴覚障害の私でも、目で本を読むことで言葉も世の中の動きも絵の描き方も覚えられたというところが今の活動につながっています。そういう生い立ちがあるからこそ、いつかは自分も本を出したいと願うようになり、小学生のときには漫画家画家作家になりたいたいという夢を持っていました。

中学生になったら耳が不自由なためにイジメにあい、苦しくて自殺のことを考えていた中学2年のとき、少年ジャンプの漫画の感想文を書いて応募しました。全国で5人の中に選ばれて、12日間のヨーロッパ招待旅行を楽しみました。帰国してすぐに短歌の先生である伯母に勧められて短歌を始めた瞬間、文学の扉が開き、自殺のことは考えないようになりました。

高校1年の春には太宰治の『人間失格』と出会って、自分も心の傷みを文



章に残せる小説家になりたいとますます強く思うようになりました。私にとって短歌も小説も、心の傷みを活字に残せる表現方法の一つだったので

3. 仕事をする上で心掛けていること、またはモットーなどはありますか？  
私が中学2年のときに出会い今も大好きなピートルズから教わった「ラブ&ピース」！これが私のモットーです。太宰治は「愛は言葉だ！」と語っているように、私も信じているのが愛と平和の言葉です。どんな人に対してもラブ&ピースの想いを込めた言葉をかけてあげたいと心がけています。どんな人でも、言葉に救われて、言葉によって生かされず死にます。もっともこの地球上がラブ&ピースの想いで満ちあふれて

ほしくて、愛と平和の言葉を発しながら、今後も私は創作活動を続けていきます。

4. 今後の活動予定は？  
これからもずっとアート展を開催し、会場復興支援チャリティー似顔絵を描き続けます。毎年3月には「東北・八戸復興支援チャリティー朗読ライブ」愛と平和の言葉LIVE!!」を開催し、朗読パフォーマンスをしながら仲間といっしょに復興支援金を集めて、今後も八戸市に寄付していきます。今年か来年には必ず八戸を舞台にした小説の本を出版し、想いを言葉にして残していきたいです。さらに八戸で映画を撮る夢も叶えます。一生を賭けて私がやりたいものは、太宰治と三浦哲郎と寺山修司とジョン・レノンとゴッホを足して5で割ったような表現者です。ピートルズがたつた4人で世界を変えたように、私も仲間といっしょに世界をもっともっとラブ&ピースの人でいっぱい



4. 今後の活動予定は？  
これからもずっとアート展を開催し、会場復興支援チャリティー似顔絵を描き続けます。毎年3月には「東北・八戸復興支援チャリティー朗読ライブ」愛と平和の言葉LIVE!!」を開催し、朗読パフォーマンスをしながら仲間といっしょに復興支援金を集めて、今後も八戸市に寄付していきます。今年か来年には必ず八戸を舞台にした小説の本を出版し、想いを言葉にして残していきたいです。さらに八戸で映画を撮る夢も叶えます。一生を賭けて私がやりたいものは、太宰治と三浦哲郎と寺山修司とジョン・レノンとゴッホを足して5で割ったような表現者です。ピートルズがたつた4人で世界を変えたように、私も仲間といっしょに世界をもっともっとラブ&ピースの人でいっぱい

いにしていただけです。5. 今春卒業する後輩の皆さんへメッセージをお願いします。

どんな人の人生でも、あつという間に時間が流れて、あつという間に終わります。人生が終わるときは、明日かもしれませんし、来年か10年後か100年後かもしれません。若さは永遠ではなく、今日という日は今日しかありません。ただひとつだけ言えることは、世のため人のため夢のためにポジティブに動いている人は、どんなに歳をとっても青春人生であり、些細なことでも死ぬはずはないと信じています。誰でもこの世に生まれてきた意味があり、それぞれに人生の目的(夢)があります。その目的(夢)をあなた方が果たすまでは、神さまはあなた方を見守ってくださいと信じています。

心のリミッターを外して、どこまでも行けるところまでどんどん突き進んでください！何でもやりたいことを、悔いのないように、ががんと挑戦してやってください！一生を賭けて自分になりたい自分になってください！二高を卒業してもずっと「ラブ&ピース」を忘れずに、何歳になっても青春人生を楽しんでください！みなさんを応援しています！



6. 最後に、同窓会の皆さんへ一言お願いします。同窓会のみなさんにはいつもお世話になっております。震災以後、人前に入るようになりまして、ご縁があつて工大二高出身の先輩や後輩とたくさん知り合いました。とてもやさしくて気さくなありがたい方ばかりで、私のことを励ましたり支えたり笑顔で応援してください、心からありがとうございます。二高を卒業してからは、同窓会に一回も出たことがないくらい二高に対してはよそよそしさを感じませんでしたが、4年前に住吉治彦先輩に誘われて勇気を出して夏のパークホテルでの同窓会に参加しましたら、たくさんの笑顔に迎えていただきました。二高を卒業してよかったと今では心から感謝しています。工大二高バンザイ！ラブ&ピース！

いちまいのおりがみで鶴をおるまでのながい道のり 羽をひろげて(大庭れいじ『摩天楼の森』より)

**主な行事予定**

- 第41期定期幹事会総会  
平成29年3月20日(月) 18時開会  
八戸パークホテル
- 第40回同窓会  
関東支部総会  
平成29年6月24日(土) 18時開会  
お茶の水ホテルジュラク  
(東京都千代田区 神田淡路町二一九)  
電話(〇三三) 三二五一七二二二  
会費 二千元
- 第19回同窓会  
仙台支部総会  
平成29年6月10日(土) 18時開会  
千の庭  
(仙台市青葉区中央三一六一ヤマダ電機(LA B1)八階)  
電話(〇二二) 七三八八五二三  
会費 二千元
- 第42回同窓会  
納涼パーティー  
平成29年8月12日(土) 18時開会  
八戸パークホテル  
(八戸市吹上) 十五一九十  
電話(〇一七八) 四三一一一一  
会費 二千元

**物故者**

橋本 道雄さん(8回生)  
新田 勉さん(12回生)  
お悔やみ申し上げます。

**各同窓会パーティーに  
皆様ご参加ください！**  
先生方や同窓生と一緒に  
楽しい一時を過ごしませんか？



第18回仙台支部同窓会  
H28. 6. 11 千の庭にて



第41回同窓会納涼パーティー  
H28. 8. 13 八戸パークホテルにて



第39回関東支部同窓会  
H28. 6. 25 お茶の水ホテルジュラクにて

**二高の10年**

〈3月〉 2日に卒業した41回生の進路報告をいたします。北海道大学、北見工業大学、室蘭工業大学、釧路公立大学5名、北教大釧路校、名寄市立大学、北教大函館校6名、公立はこだて未来大学2名、弘前大学5名、青森県立保健大学4名、青森県立大学3名、岩手大学3名、岩手県立大学2名、秋田大学、秋田公立美術大学、東北大学、山形大学6名、会津大学、前橋工科大学、長岡造形大学、富山大学、都留文科大学、静岡県立大学、以上の国公立大学で50名合格を達成しました。国公立短大では、岩手県立宮古短大、山形県立米沢女子短大3名、会津短大、大月短大、以上の6名が合格。岩手医科大学4名、東北医科薬科大学3名、東北学院大学7名、東北福祉大学5名、亜細亜大学3名、明治大学、法政大学2名、日本大学5名、専修大学5名、駒澤大学3名、女子美術大学4名、東京女子大学、東京造形大学2名、女子美術大学4名、東京電機大学、東京農業大学2名、東洋大学3名、獨協大学、フェリス学院大学、法政大学2名、武蔵野美術大学3名、東海大学、同志社大学、関西大学など私立



青森県高総体ポスター「最優秀賞」  
美術コース2年 中山 友理さん

大学133名合格、防衛大学校合格、私立短期大学15名合格、看護医療系専門学校20名合格、専修・各種学校18名合格、八戸工科学院4名合格、就職においては警視庁、宮城県警、自衛官など公務員7名合格、一般企業19名合格という結果でした。国立大学50名合格は、本校初の快挙です。

〔4月〕6日に238名の新生を迎え、第42回入学式が挙行されました。22日〜24日の3日間に渡り、SCクラス全学年合同合宿が小川原湖青年の家に於て行われ、大学受験に向けた今後の学習のあり方を学びました。27日、美術コース2学年と3学年希望者を対象に、特別非営利法人岩手未来機構主催「いわてアートプロジェクト2016」によるワークショップが行われ、スペインのアートイストである、ホセ・マリア・シシリア氏による講義を受けました。

コース全学年が校外スケッチ実習が、階上町寺下観音と十和田市手作り村鯉岬郷とに分かれて実施されました。

〔6月〕3日〜6日にかけて高校総体が行われました。今年度も美術コース2年生、中山友里さんの大会ポスターが最優秀賞を受賞し、採用されました。また、優秀賞には2年生の香村綾乃さんの作品が選ばれました。

〔7月〕1日、18歳選挙権を考えさせる機会として、青森中央学院大学准教授 佐藤淳氏を迎えて講演会を実施しました。また、模擬選挙を実施し、実際の選挙に向けての心構えを体験しました。17日〜21日にかけて学校行事最大の二高祭が行われ、2日間の一般公開を含み、大盛況のうちに無事終了しました。23日〜24日、毎年恒例の八甲田登山キャンプが実施され、大自然での楽しいキャンプはもちろん、生息する植物についての知識を習得し、

実のある体験学習が行われました。同日、東北大学浅虫海洋生物学教育研究センターにて海洋生物学に関する学習を目的とした、臨海実習が行われ、ウニやホタテの生態についてや、ウミホタルの観察などを行いました。



30日、夏の体験入学を開催し、千名を超える中学生や保護者の皆様に参加していただきました。

〔8月〕1日、メディアカルレτζジクラス2年生が、八戸西病院にてインターンシップを行いました。3日〜4日、情報ビジネスコース1年生が、陸上自衛隊八戸駐屯地にて職業体験を行ってきました。6日、30名の生徒が陸前高田市の仮設住宅を訪問し、絵画寄贈と交流ボランティアを行いました。6日〜7日、「鮫蕪島・種差観光ガイドボランティア」が実施され、英語でのガイドを実施するなど、昨年より活動がグレードアップしました。8日〜10日にかけてカ

レτζジコース3学年希望者による学習合宿が五戸町ひばりの交流センターにて行われました。同日、カレτζジコース1、2年生のSCクラス、及び希望者による合同学習合宿が小川原湖青年の家に於て行われました。17日〜9月2日にかけて、中国遼寧省の瀋陽工業大学にて中国語学研修が実施され、語学の習得はもちろん、異文化交流も行いました。27日、情報ビジネスコースの2、3年生の希望者が参加している商品開発部が「美保野ポークのサイコロステーキ」を試験販売しました。(株)美保野グリーン牧場様にご協力いただき開発した商品で、予定数を全部売り切った盛況ぶりでした。

11日、国際医療福祉大学による出張講義と大学説明会が行われ、メディアカルレτζジクラスを含む1年生から3年生までの医療系進学希望者が聴講しました。18日、本校ラグビー部3年の小比類巻元希君が、1月5〜7日に大阪花園ラグビー場で開催される「合同チーム東西対抗戦」に東日本選抜選手として出場することを校長先生に報告しました。21日〜23日まで第37回高総文祭が行われました。美術工芸部門では美術コース2年生の野口麟さんが最優秀賞、同年荒川涼さんが優秀賞、同年、中山友里さんが優良賞を受賞し、平成29年



度の全国高総文宮城大会参加が決まりました。22日、生徒保護者合わせて43名が参加し、白神山トレッキングに行ってきました。トレッキングだけでなく津軽ダムの見学も実施しました。

〔11月〕12日、1学年が高大連携キャリアサポートを実施しました。県内各地から60名以上の大学生が集まり、「EYE&ひとつなぎの道」をテーマにワークショップを実施していただきました。25日〜29日にかけて2学年修学旅行がありました。コースは広島・京都・奈良・大阪を巡り、平和への願いや日本文化・歴史を体感してきました。本校の創立40周年記念事業の一環である中庭整備事業が11月に完了しました。中庭の池のあった場所に人工木のウッドデッキを設置し、テーブルと椅子がおかれ、オープンカフェ風の雰囲気味わえるようになりました。



〔12月〕14日、「壁があつたら穴を開ける」と題して、大間町地域興しに取り組むYプロジェクト(株)社長島康子さんによる講演会が開催されました。同日、今年4月に開校する青森県立八戸高等支援学校の校章デザイン公募に出品した、美術コース3年生栗山あさひさんのデザインが校章に採用され、本校で表彰式が行われました。16日〜18日にかけて、八戸市立美術館と八戸ポータルミュージアムはっちの二会場において、美術コース作品展が行われ、多くの来場がありました。同日、本校と聖ウルスラ学院高校との共同開催で、華道部花展が行われました。24日、9月の台風10号により被害にあった岩手県岩泉町にボランティア訪問し、サンタクロースの格好をした生徒が、クリスマスキャンドルとリース、絵画を住民の方に寄贈しました。

吹奏楽部定期演奏会  
平成29年3月12日(日)  
開演 13時30分  
14時  
八戸市公民館にて無料

**お知らせ**

〔1月〕26日〜27日に情報ビジネスコース1、2年生が八幡平リゾートにてスキー教室を行いました。